

## 平成28年度 学校総合評価

### 1 今年度の重点課題に対する総合評価

#### (1)学習活動

- ・ 学習指導要領の改訂に向け、アクティブラーニングの導入と指導力向上を目指し、互見授業や授業検討会を実施している。
- ・ 講師として外部人材を積極的に招くことで、各分野を特色づける専門性の高い講座を実施している。
- ・ 全科目の内容や学習方法、評価方法をシラバスで示し、進路選択、科目選択に活用している。

#### (2)学校生活

- ・ 毎朝玄関前で遅刻の防止、正しい服装、挨拶の慣行を呼びかけている。ねばり強く呼びかけることで、規範意識が向上し生活習慣が改善されるよう努めている。
- ・ 服装指導は、年間計画を立て教員が一丸となって実施している。女子のスカート丈を重点に指導しているが、校外に出ると元に戻ってしまうなど課題もある。

#### (3)進路支援

- ・ 1年時は「上級学校・企業見学」、2年時は「インターンシップ・進路研修旅行」、3年時は「企業見学・オープンキャンパス」などにより、進学意識や職業意識を高めている。また、保護者も参加できる進路ガイダンス、進路体験講座なども実施した。
- ・ 就職希望者が事業所訪問や応募前見学に参加するよう指導を徹底した。
- ・ 各学年の進学希望者を対象にした希望者補習や特別授業を実施した。

#### (4)特別活動

- ・ 地元商工会と連携し実施している地域交流活動は、文化部の貴重な発表の場となっている。また、生徒会がイベントの企画運営にたずさわることは、生徒活動の活性化にもつながっている。
- ・ 社会福祉協議会から協力を得て、ボランティア活動の活性化を図っている。

### 2 次年度に向けての課題と方策

#### (1)学習活動

- ・ 授業の質の転換を目指し、アクティブラーニングによる指導法の工夫や教材開発に努める必要がある。
- ・ 受験科目は、個別の添削指導を行うなど家庭学習を積極的に支援する必要がある。苦手科目は、学び直せる仕組みを工夫する必要がある。

#### (2)学校生活

- ・ 基本的な生活習慣や生活態度が身につくよう指導を継続する。また、ネットトラブル対策として、外部講師によるスマートフォン安全教室などを実施する。
- ・ 巡回指導員やスクールカウンセラーと連携し、教育相談機能の充実を図る。

#### (3)進路支援

- ・ 今後も、外部人材を積極的に活用し、多様な進路希望に応じた支援を行う。
- ・ 進路指導部、学年、教科間の連携を強化し、生徒の希望や状況に応じた進路指導を継続する。
- ・ 進路希望を実現させるために、家庭学習時間を増やす仕掛けが必要である。

#### (4)特別活動

- ・ 地域交流活動やボランティア活動が、生徒の主体的な活動になるよう積極的な支援を行う。
- ・ 部活動の活性化を図るため、教員の指導力向上にも努める。